

ZMAX 導入ガイド

配布先向け / Mac + Logic Proを想定

まず確認 このZIPには、ZMAX本体（AU / VST3）、プリセット、クイックガイド、秘伝の書が入っています。Mac専用のベータ版です。

1. ZIPを開く

ZIPをダブルクリックして展開します。展開後のPluginsフォルダ内に、ZMAX.component（AU）とZMAX.vst3（VST3）があります。

2. プラグインを配置する

ZMAX.componentを ~/Library/Audio/Plug-Ins/Components/ へ、ZMAX.vst3を ~/Library/Audio/Plug-Ins/VST3/ へコピーします。Finderの「移動」メニューでOptionキーを押すと「ライブラリ」が表示されます。

3. Logic Proで読み込む

Logic Proを再起動し、Audio FXから Audio Units → ZZZEEENNN → ZMAX を選びます。VST3対応ホストでは VST3 → ZZZEEENNN → ZMAX でも読み込めます。

初回に出る可能性がある表示 「Audio Unitを検証中」「プラグインを使用しますか？」などが出たら、ZMAXの開発元とファイル名を確認して許可します。読み込めない場合はLogic Proを完全終了して再起動してください。

導入後の確認と対処

画面・プリセット・音が出ないとき

4. プリセットを使う（任意）

Presets/test-preset001.aupresetを ~/Library/Audio/Presets/ZZZEEENNN/ZMAX/ へコピーします。ZMAX画面上部のプリセットメニューからtest-preset001を選びます。

プラグインが一覧に出ない

AUはComponents、VST3はVST3へ正しいファイルを置いたか確認し、Logic Proを終了後に再起動します。それでも出ない場合はプラグインマネージャでZMAXの検証状態を確認してください。

「壊れている」「開発元を確認できない」

配布元とファイル名がZMAXであることを確認し、Finderでプラグインを右クリックして「開く」を一度実行します。管理対象Macでは管理者へ確認してください。

音が出ない / 変化が分からない

再生中であること、目的のバスに挿さっていること、BYPASSが解除されていることを確認します。DRIVEを少し上げ、GRメーターが動くか確認します。DELTAは監査用なので通常音では解除します。

安全な初回設定

STYLE=Transparent、SOFT CLIP=0、CEILING=-1.00 dBから始め、BYPASSで音量を比較します。必要ならプロジェクトを保存してから調整してください。

問い合わせ時に添える情報 Macの機種・macOS・Logic Proのバージョン、AU/VST3のどちらか、表示されたメッセージ、プラグインを置いた場所を伝えると切り分けが早くなります。